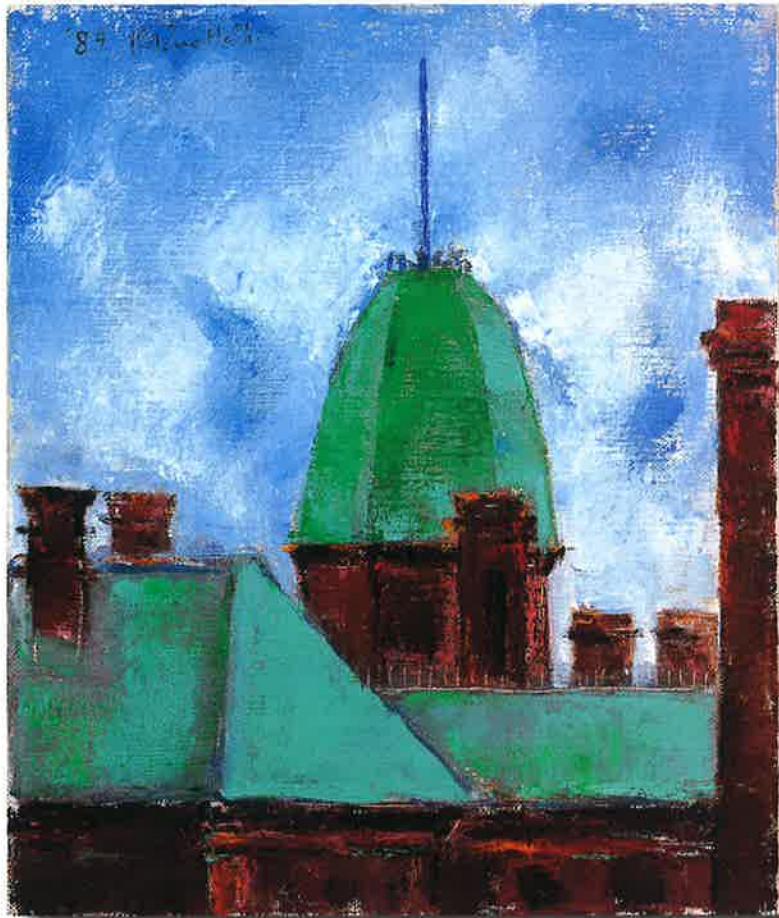


特 集

特定健診
特定保健指導

救急力ガイドライン2005
海外研修に参加して
ボラリス保健看護学院
卒業式・謝恩会・船出の会・ぱかぱか会
助産師による思春期保健教育
職員が多方面で活躍しています
各種資格認定・表彰
施設ニユース
トピックス



札幌道庁 (F8、1989)

最近、救急患者が各医療施設で受け入れで
きず、にらい回しにされ、助からなかつた症
例が日本各地で報道されている。かかりつけ
の患者でさえ断られる。この問題は身近でも
起きており、重く受け止めて対処しなければ
ならないが、医療制度の改悪に伴う複雑な背
景があり、決して担当の当直医だけの責任に
はできない。新研修医制度導入に伴う大都市
の病院への医者の集中、地方の大學生病院の医
局員の減少と地域中核病院からの中堅医師
の引き上げに伴う地方の医療崩壊、医師の絶
対数の不足に伴う比較的軽症な患者の救急
病院への殺到と医師の過酷な勤務および離
職、これが救急患者のたらい回しの背後にあ
る。さらに医療保険改悪に伴う平均入院日数
が長いほど、入院基本料が低くなるという
現状退院を強いる保険システムに支配され
るようになり、02年、30日間だった急性期病
院の平均入院日数は、07年には17日と約2
分の1になり、患者は症状が固定する前に退
院を迫られる。一方、稼働率を上げることで
医療従事者は極度の労働強化を強いられ、長
期入院が予想される患者（主として高齢者）
の受け入れは敬遠されがちになっている。さ
らに、「加古川心筋梗塞事件」のように、救急
院を担当する医師は減少し、特定の内
科医や研修医に負担が集中しており、看護師
をはじめとするスタッフも受け入れ可能な
ベッド数も減少している状況の中で、全ての
患者を断らずに対応することには限界があ
るようと思われる。しかし、現在の星総合病院
が地域医療支援病院に認定され、連携医の
先生方からも信頼され、数多くの患者さんが
紹介されるようになつたのは、かつて救急患
者を担当されていた諸先生方が、紹介患者を
簡単に崩れ去ってしまう。我々は医療環境の
改善が図れるように精一杯の努力をすると
ともに、救急に携わる各スタッフの方々もよ
りよい医療の実現へ向けて努力して頂くよ
うに願いする次第である。

「靈をも醫やしたい」—— という創始者の願いを医療従事者の医の心とすべく造られた当院の理念

平成20年4月から 健診・保健指導が新しくなりました。



内科（健診部長）
秋葉陽子

日本人の死因の2/3以上を占め、国民医療費では約1/3を占めるといわれる生活習慣病。生活習慣病には、糖尿病、脳卒中、心臓病、高脂血症、高血圧、肥満、癌などがあり、癌以外の疾患は循環器系疾患の危険因子でもあります。これらの危険因子が重複することによって、心血管疾患の発症はさらに増加することが認められています。我が国において、これらの生活習慣病の増加に歯止めがかからない状況であることなどから、平成20年4月から健診・保健指導が新しくなりました。この新しい健診制度は「特定健康診査・特定保健指導」と呼ばれ、「高齢者の医療の確保に関する法律」により、**医療保険者が40歳から74歳の加入者（被保険者および被扶養者）に対して実施することが義務付けられました。**

（※75歳以上の方には、高齢者医療確保法に基づき、後期高齢者医療広域連合が健康診査を行います。生活習慣病の早期発見のための健診や介護予防のための生活機能評価などが行われます。）

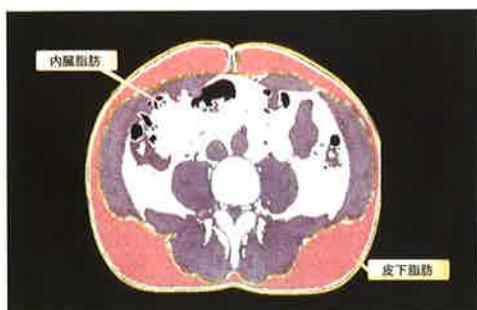
病気の人を早く見つける健診から、 病気になりそうな人を早く見つける健診へ。

従来の健診と保健指導では「病気の早期発見・早期治療」が目的であり保健指導は病気ごとに行われていました。しかしこれからは、生活習慣病の前段階である**メタボリックシンドローム**に着目し、健康的な生活習慣を送ることができるよう保健指導を効果的・効率的に実施していくことによって、より**早期の段階**で生活習慣病の発症を減少させることを目的としています。

メタボリックシンドロームとは？

近年、「メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）」という言葉がマスコミなどにしばしば登場し、耳にする機会も多いことと思います。

メタボリックシンドロームは、1990年にWHO（世界保健機関）が提唱した概念で、我が国においても2005年4月に診断基準が示されました。肥満症や高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病はそれぞれが独立した別の病気ではなく、**内臓脂肪型肥満（肝臓や腸などの内臓周りに脂肪がたまりすぎた状態）**が原因であることがわかってきました。このような**内臓脂肪型肥満**によって様々な病気が引き起こされやすくなった状態を**メタボリックシンドローム**といいます。放置しておくと動脈硬化が進展増悪し、やがては心筋梗塞、脳梗塞などの重篤な疾病を引き起します。そこで、特定健康診査ではメタボリックシンドロームを早期発見するための検査が中心となります。その結果から生活習慣病の危険因子の数や年齢などを考慮して、3つのグループに分けられて健診結果と併せて通知されます。



ファットスキャンによる腹部の断面画像
(星総合病院健診部でも検査することができます)

＜結果判定と特定保健指導＞

健診の結果、メタボリックシンドロームのリスクがあると判定された方には、「保健指導」が行われます。保健指導とは、医師・保健師・管理栄養士・健康運動指導士などが対象者に対して実施する、生活レベルでの支援のことをいいます。特定保健指導の対象となった方には「特定保健指導利用券」が同封されて案内が届きます。指定された医療機関で保健指導を受けてください。

なお、受診者は、健診結果をもとに以下の3つのグループに分けられます。

情報提供レベル

※生活習慣の改善に関する基本的な情報提供は、受診されたすべての方に実施されます

今はメタボリックシンドロームのリスクが少ない方です

今後も健康な生活を続けていくためにどのような生活習慣を送ればよいかについて、健診結果や問診をもとに、必要な情報を提供します。

動機付け支援レベル

メタボリックシンドロームのリスクが出はじめた方です

保健指導が1回行われます。生活習慣改善の必要性が高い対象者については、対象者が自らの生活習慣を振り返り、行動目標が立てられるようサポートしていきます。

積極的支援レベル

メタボリックシンドロームと判定された方です

3~6ヶ月にわたり、積極的に保健指導が行われます。行動目標の達成を支援し、継続的に実行していくようサポートしていきます。個別面接・グループワーク・実技・実習などの支援方法を組み合わせ、新たな生活習慣の獲得を目指します。

※医療機関で受診する必要がある場合は「受診勧奨」と通知されます。

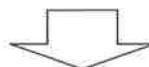
<判定結果をもとに、保健師や管理栄養士などの専門家が受診者それぞれに保健指導を行います>

△テップ
1

(腹団とBMIで内臓脂肪蓄積のリスクが判定されます)

- ① 腹団 男85cm以上 女90cm以上
- ② BMI 腹団が男85cm未満 女90cm未満で、BMIが25以上
- ③ ①②以外の人

$$\text{BMI} = \text{体重(kg)} \div \text{身長(m)} \div \text{身長(m)}$$



(検査結果、質問票より追加リスクがカウントされます)

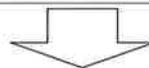
△テップ
2

- ① 血 糖 空腹時血糖100mg/dl以上またはヘモグロビンA1c5.7%以上または、薬剤治療を受けている場合
- ② 脂 質 中性脂肪150mg/dl以上または、HDLコレステロール40mg/dl未満または、薬剤治療を受けている場合
- ③ 血 圧 収縮期130mmHg以上または、拡張期85mmHg以上または、薬剤治療を受けている場合



- ④ 質問票 喫煙歴あり

上記の①～③のリスクが1つ以上の場合にのみカウント



△テップ
3

(ステップ1、2から保健指導の対象者が、**情報提供レベル**・**動機づけ支援レベル**・**積極的支援レベル**の3つにグループ分けされます。)

ステップ1で①に該当した場合、①～④の追加リスクのうち

追加リスクが2以上 **積極的支援**

追加リスクが1 **動機づけ支援**

追加リスクが0 **情報提供**

ステップ1で②に該当した場合、①～④の追加リスクのうち

追加リスクが3以上 **積極的支援**

追加リスクが1～2 **動機づけ支援**

追加リスクが0 **情報提供**

ステップ1で③に該当した場合 **情報提供**

すでに薬物治療を受けている方は保健指導の対象とはなりません。ただし、主治医の了解のもとに保健指導を行うこともあります。

また、65～74歳の人は、「積極的支援」の対象となった場合も「動機づけ支援」となります。

自身の生活習慣を見直す絶好のチャンスです。

40歳を超えたたら、特定健康診査を毎年必ず受けましょう。

新しい救急蘇生ガイドラインについて

星総合病院 救急医療委員会委員長 山田 瞳夫

世界各国で標準的に実施されている心肺蘇生法（CPR）はこれまで、2000年に作成された「AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法と救急心血管治療のための国際ガイドライン2000」に基づき実施されていました。日本でもこの「ガイドライン2000」の強い影響を受けて、2004年7月に自動対外式除細動器（以下AED）の市民使用が認可されました。その後ガイドライン2000は、「医学的な根拠」や「その有用性と効果」など細かく検証・改訂され、アメリカで2005年11月に「AHAガイドライン2005」が発表されました。日本でもこれを受け、日本救急医療財団心肺蘇生法委員会（日本救急医学会、日本蘇生学会など20団体）が日本の医療事情に合わせて、新しい日本版救急蘇生ガイドラインを2006年6月に作成しました。

ここでは「新しい救急蘇生ガイドライン」に基づいた救急蘇生法をご紹介します。

心肺蘇生法のABC+Dを知ることが救命救急の命です！

A : Airway (気道確保)

B : Breathing (人工呼吸)

C : Circulation (胸骨圧迫、心臓マッサージ)

+

D : Defibrillation (除細動)

AED (自動対外式除細動器) : 心臓に電気ショックを与える救命機器

倒れている人がいたら、大きな声をかけて、肩を軽くたたきましょう。

目を開けるなどの呼びかけに対する反応がない場合は、

●まず誰かを大声で呼びましょう。

「誰か助けてください！」

「119番の通報をお願いします！」

「AEDを持ってきてください！」

●まず**A** : あごの先を指先でもちあげ気道を確保しましょう。

●次に**B** : 鼻をつまみ、一回当たり1秒かけて人工呼吸を2回、軽く胸が上がるくらいでよいので、息を吹き込みましょう。

●次に**C** : 両手をかさね、乳頭と乳頭を結ぶ線上の真ん中を強く30回（1分間100回程度のリズムで）押ししましょう。

Bと**C**を交互に5サイクル行いましょう。

ただし、手元にフェイスシールやマスクなどなく、経口感染の可能性があるときは、Cのみを絶え間なく1分間に100回程度のリズムで行ってもよいです。

胸骨圧迫は大変疲れるので、応援に駆けつけた人も交え、交代しながら、強い、確実な胸骨圧迫を心がけましょう。

●**D** : AEDが到着したら前胸部に2枚電極のパッドをはって、AEDのスイッチをいれましょう。音声ガイドに従って、患者から離れると、心臓に自動的に電気ショックがかかります。

目の前で急に倒れた人がいたら いざという時のための心肺蘇生法



(日本医師会ホームページより)

救急隊が到着するまでの6~7分間、B→C→D→B→C→Dと処置を繰り返しましょう。

第24回職員海外研修報告

当法人では、勤続10年を迎えた職員および特別枠で選ばれた職員が参加して、職員海外研修を毎年行っております。24回目となる今回は22名が参加、イタリアのミラノを視察先とし、11月21日から27日にわたって実施しました。

研修視察先

■ アントニオ・コロンボ病院

1940年、ミラノに高齢者福祉施設として設立。その後一般外科などの診療科を持つ病院として再編成された、ベッド数100床の病院。世界的に有名な循環器科の医師、アントニオ・コロンボ先生がいる。富利を目的としないプライベートベース及びカトリック系の保健医療施設であり、疾病治療だけではなく、患者の精神面の支えとなるべく奉仕活動を行っている。

■ カステッリーニ財団福祉施設メレニアーノ

ミラノから約40kmのところにある介護施設。大きく分けて、自己管理が出来ない患者専用のカステッリーニ棟とアルツハイマー患者専用のエリアがあるジョヴェンザーナ棟の2つの棟からなる。高齢者に対するケアは24時間体制。

■ サン・ラファエレ病院

総ベッド数約1,400床、総スタッフ数約3,500名のミラノにある総合病院。(1)予防、(2)治療、(3)リハビリと大きく3つの部署で構成。公共的に重要な役割を果たしているカトリック系民間病院。

今回特別枠で参加した、福島県立医科大学 地域・家庭医療部の高柳宏史医師に研修の感想について伺いました

海外旅行は個人でもできますが、こういった海外の医療について現場を見るということは本当に貴重だと思います。また、こういった機会を頂くことでイタリアの医療事情、医療の問題点、そして、それに対してどのような取り組みをしているか自分なりに学ぶことができました。百聞は一見にしかずと言いますように、見た、もしくは直に聞いたという事自体が本当に貴重な経験となったと感じています。

また、最初は他のメンバーの事を何も知らなかったので不安もありましたが、フランクフルトの一夜（最終日、帰りの飛行機の遅れによりフランクフルトで予定外の延泊）というハプニングと共にした今回のメンバーは旅行が終わってからも仲間と思えるような付き合いをさせてもらっています。今回の研修は、そういう意味でも実りのある研修だったと今更ながら感じています。おそらくそれは他のメンバーも同じように感じているのではないでしょうか。

最後に、このような貴重な機会を快く提供してくださった財団に本当に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。この経験を活かして今後の診療や医療に臨んでいきたいと思います。

ポラリス保健看護学院

平成19年度卒業証書授与式（3月6日）

郡山ビューホテルアネックスにおいて、ポラリス保健看護学院平成19年度卒業証書授与式を行いました。星北斗学院長より、第7回生34名一人ひとりに卒業証書・称号書が授与されました。学院長からは「巣立っていく皆が社会に認められることを祈っている。看護の道は永遠であり、息が絶えるまでずっと進んでいくことを誓ってほしい」との式辞がありました。在校生代表の小西あかりさんの送辞に対して、卒業生を代表して堀田淑子さんが「4年間の多くの学びを糧に一歩一歩歩んでいきたい」と答辭を述べ、決意を新たにしました。学院からは卒業記念品として、「学院歌入りのオルゴール」が贈られました。

各賞受賞者

優等賞総代	堀田 淑子
優等賞	佐藤 美佳
理事長賞	渡邊 愛
福島県医師会長賞	五十嵐 彩
精勤賞	大越栄理子、大友麻莉子、 佐藤 美佳、鈴木 瑞穂、 竹花まりこ、中川 美穂、



ぽかぽか会（3月4日）

卒業生が4年間お世話になった学院をきれいに掃除し、その後教職員と一緒に会食するぽかぽか会。メニューは、前日に教職員が心を込めて作った手作り「ビーフシチュー」。教職員の愛情がたっぷり入ったビーフシチューに卒業生は大満足でした。



船出の会（3月5日）

卒業式を明日に控えた卒業生一人ひとりが、教職員および在校生の前で4年間の学院生活の思い出やこれから社会に出るにあたっての決意を発表するという「船出の会」。卒業生は学院生活最後の実習着姿でそれぞれの思いを述べました。



助産師による思春期保健教育へのアプローチ①

～小・中学校での健康教室活動～

産婦人科病棟 思春期グループ

思春期は、身体的・精神的、また社会的に発達段階にある大切な時期です。近年、思春期の性感染症の増加や望まない妊娠、犯罪等が問題となっています。福島県は10代の人工妊娠中絶率が全国でワースト2位であるという現状にあり、思春期保健教育を積極的に進めていく必要があります。

これらの状況から、星総合病院では小・中・高校生を対象として「おとなへのステップ～心とからだの変化といのちの大切さ～」をテーマに、「どこでも健康教室」を行っています。思春期保健相談士の資格を持つ助産師が中心となって、依頼のあった学校に出向き、「いのちの大切さ」、「思春期の心とからだの変化」、「性感染症予防」などについて講義を行っています。今回は小学校での活動についてご紹介致します。

小学校の6年間はこころも体も大きく成長し変化する時期です。そこで「いのちの大切さ」をベースにして、学年に応じて健康教室の内容も変えています。小学校1～2年生では、からだのそれぞれの働きと役割について触れ、おへそとへその緒の役割や性器が排泄や将来赤ちゃんを産むための大変な役目を持っていること、清潔にする必要性をお話しています。また、3～5年生では、第二次性徴、受精、胎児の様子について、6年生では第二次性徴を踏まえて、エイズなどの性感染症についてもお話しします。

どの学年でも、新生児人形の抱っこを体感したり、胎児の心音を聴いた後に、自分の心拍数と比べてみるなど、からだで感じる健康教室を心がけています。また、母子健康手帳や臍帯を手にとって見てもらい、自分が生まれてきた時の“感動”や“命の重み”について家族にきいてみるようにお話ししています。

健康教室の後は、「おなかの中の赤ちゃんの様子がよくわかった。」「お母さんがとても大変な思いをして生んでくれたことがわかりました。」「育ててくれた家族に感謝したい。」など子どもたちから感想をたくさんいただいています。

健康教室をきっかけに、家族で「いのちの大切さ」や「生命の神秘」が話題となる機会が増えることを期待しています。



職員が多方面で活躍しています～各種認定・表彰者について～

当法人では、患者さんによりよい保健・医療・福祉サービスを提供できるよう、職員一人ひとりが向上心を持ち、日々研鑽に努めています。

平成19年度の主な表彰者・資格取得者は、以下の通りです。

表彰

- 第55回精神保健福祉全国大会 連盟会長賞 受賞（社団法人 日本精神保健福祉連盟）
星ヶ丘病院 心理室 安藤ヒロ子
- 第43回福島県精神医療懇話会 成績優良永年勤続者 受賞（福島県精神科病院協会）
星ヶ丘病院 川島美枝子 高田すみ子 鈴木恵美 藤井理子

資格認定

- 超音波検査士（社団法人日本超音波医学会）
 - ・消化器領域 星総合病院 放射線科 放射線技師 太田美紀
 - ・泌尿器領域 星総合病院 中央検査科 臨床検査技師 滝沢貴叙
 - ・循環器領域 星総合病院 中央検査科 臨床検査技師 永戸初美
 - 星総合病院 中央検査科 臨床検査技師 秋山奈美
- 日本糖尿病療養指導士（日本糖尿病療養指導士認定機構）
 - 星総合病院 薬剤部 薬剤師 笹木静香
 - 星総合病院 健診部 保健師 佐藤啓恵
- 人間ドック健診情報管理指導士（日本病院会・日本人間ドック学会）
 - 星総合病院 健診部 保健師 大浪佳代子
- 3学会合同呼吸療法認定士（日本胸部外科学会・日本呼吸器学会・日本麻酔科学会・3学会合同呼吸療法認定士認定委員会）
 - 星総合病院 臨床工学科 臨床工学技師 箭内雅美
- 臨床心理士（財団法人日本臨床心理士資格認定協会）
 - 星ヶ丘病院 心理室 心理士 酒井良子

施設ニュース

ボランティアコンサート 法人各施設で開催

「ボランティアコンサート」は、患者さんやそのご家族に音楽を通して温かい気持ちになっていただきたい、病院でのほっと一息の時間を持っていただきたいという願いを込め、また中学生や高校生など地域の若き音楽家の活動を知りていただくことを目的に、当法人各施設のボランティア委員会が企画し、定期的に開催しております。

<星総合病院>

郡山第二中学校合唱部・吹奏楽部
(12月21日)

全国1位の歌声を披露してくれた郡山第二中学校合唱部の皆さん。器楽とともにすばらしい音色をロビーに響かせてくれました。



郡山東高等学校合唱 (2月23日)

女子学生約30名が、女性らしい柔らかくて優しい歌声を披露してくれました。美しいハーモニーに合わせて体を動かしリズムをとっている方も見られました。



<星ヶ丘病院・介護老人保健施設オリオン>

安積黎明高校クラシック部
(12月23日)

クラシック部の皆さんのが「ハッピークリスマスコンサート」と題して、星ヶ丘病院および介護老人保健施設オリオンの2施設で演奏を披露してくれました。一足早い素敵な“音楽”のクリスマスプレゼントとなりました。



アンサンブル・コライネ (2月8日)

フルート・オーボエ・クラリネット・ホルン・ファゴットによる五重奏の美しいハーモニーに、集まった患者さん達はじっくり聴き入っていました。



芳賀・小原田地域包括支援センター

健康教室開催

3月10日・12日

地域の皆さんをお招きした健康教室を、芳賀公民館および小原田公民館において開催しました。郡山市長寿福祉課地域支援係の矢沢樹里さんに講師をお願いし、認知症の予防について分かりやすくお話ししていただきました。その後茶話会が設けられ、参加者は楽しいひとときを過ごしました。



三春町立三春病院

御木沢小学校ボランティア 2月27日

三春町立御木沢小学校の4年生約20人が来院し、外来ロビー及び病棟において、紙人形劇およびリコーダー・タンバリンの演奏、歌に合わせた手話を披露してくださいました。

患者さんにとつて心安らぐひと時となりました。



業務改善報告会実施

3月13日

当法人では、各施設や各部署において、創意工夫により業務改善が図られた事例や新しい取り組みについて、職員同士での情報共有を図ること目的として、平成17年度より「業務改善報告会」を開催しています。平成19年度は各施設・各部署より合計163題の報告がありました。報告会当日には、その中でも特に優れた取り組みである下記の9題の発表を行いました。

1. 定数配置薬管理業務への薬剤師介入について	星ヶ丘病院 薬剤部 渡辺紗知子
2. 町立三春病院医療機器管理の取り組み	町立三春病院 医療機器安全管理実務担当者会 佐藤 政春
3. 病棟内リハビリテーションを実施しての効果	星総合病院 脳神経・混合病棟 兼子トモ子
4. 病院の仕組みを理解する「病院見学実習」の導入を試みて	ポラリス保健看護学院 齋藤 裕子
5. 地域住民との顔が見える関係づくりの経過	芳賀・小原田地域包括支援センター 猪腰江美子
6. 足浴による生活パターンへの効果	介護老人保健施設オリオン 菅野 路子
7. 精神科デイケア利用の効果をより高めるためにニーズ調査を実施して	星ヶ丘病院 デイケア 手塚 雅孔
8. 感染対策チームの活動報告	町立三春病院 ICT 委員会 三輪 智子
9. 体内異物遺残防止のためのカウント方法の検討と取り組み	星総合病院 手術室 莊谷めぐみ



平成19年度第2回モニター会議(11月17日)

患者サービスの向上を図るために、第三者からの意見や提言を聴き、病院運営に反映させることを目的とした「病院モニター会議」を開催しました。19年度第2回目の開催となる今回は、法人各種パンフレットやホームページ、および病院給食を試食しての意見交換を行いました。なお、ご協力いただいているモニターさんについては以下の方々となっております。

岩淵 和夫様 小針千代子様
込山 洋子様 佐藤 元様
佐藤 飯子様 清水 則夫様
高橋 陽子様 根本 仁様
橋本 保雄様 渡邊 則彦様



第16回あだたらシネカンファレンスウインター・ライブ(2月22日)

星総合病院の木島幹博副院長を代表世話人として、心臓血管のインターベンション治療技術の向上のために毎年行なわれている「あだたらシネカンファレンス」が行われました。今回は、北海道社会保険病院の五十嵐慶一先生を含む計6名の先生方をゲストオペレーターとしてお迎えしての開催となりました。実際に1階の心臓カテーテル室で行なわれた治療の様子が4階の講義室へリアルタイムに送られ、映像を見ながら参加者は真剣に意見を交わしました。



得意分野を活かしてボランティアをしてみませんか? ～介護老人保健施設オリオン～

オリオンでは、入所されているお年寄りの方々のために、ボランティアに来ていただける方を募集しております。

- ①華道(生け花教室)のお手伝い ②書道(習字クラブ)のお手伝い ③茶話会(喫茶クラブ)のお手伝い
④農園(野菜苗の育成から収穫までの一連)の手ほどき ⑤その他 リネン交換や食事介助 等

詳しくは施設ボランティア受け入れ担当者にお問合せください。

問合せ先：介護老人保健施設オリオン(郡山市片平町字峯三天2番地)
024-952-6413(代) 担当：相談室 原・長谷部

新・町立三春病院 内覧会開催のお知らせ

平成19年6月から始まった新病院の建設工事が、平成20年4月末の完成に向けて順調に進んでおります。そこで、5月7日の新病院開院に先立ち、下記の通り「内覧会」を開催することとなりました。皆様の多くのご来場をお待ちしております。

- 日 時：平成20年4月29日(火) 午前10時～午後3時 ※事前申し込みは必要ありません
●場 所：三春町立三春病院(田村郡三春町字六升町50番地)
●そ の 他：駐車場について
当日の三春病院は混雑が予想されますので、駐車場は三春町役場および地域交流館まほら駐車場をご利用ください。三春病院までの無料往復バスを運行いたします。
●問合せ先：町立三春病院 事務部：渡辺・永崎
電話0247-62-3131



●新病院完成予想イメージ

中国産冷凍食品の使用について

現在、中国産冷凍ギョウザが原因とされる健康被害事例が報道されていますが、当法人で提供している給食等では中国産ギョウザ及び自主回収対象の中国産冷凍食品は一切使用しておりません。

安全に給食を提供しておりますので、どうぞ安心ください。

ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス
<http://www.hoshipital.or.jp>
発 行／**星総合病院**
編 集／「懸虹」編集委員会
発行日／平成20年4月18日
住 所／〒963-8501
郡山市大町2丁目1-16

フィブリノゲン製剤使用状況に関する問い合わせについて

星総合病院および三春町立三春病院(当時は県立三春病院)では、平成6年以前に同製剤を投与された可能性のある方々を対象として、確認を希望する方の投与の有無について調査・ご報告いたします。下記までお問い合わせください。

<問い合わせ先>

- 星総合病院 担当：診療情報管理センター(佐藤) 電話 024-923-3711(内線337)
●三春町立三春病院 担当：事務部(渡辺・永崎) 電話 0247-62-3131

<受付時間> 月曜日～土曜日 8:45～17:15

木曜日 8:45～12:30(第3木曜日は休診のため受付しておりません)

お問い合わせのあった方に対して、診療録をもとに調査を行い、フィブリノゲン製剤投与の有無を後日ご連絡いたします。なお、調査には数日を要しますので、あらかじめご了承下さい。

[C型肝炎ウイルス検査について]

C型肝炎に関する検査はほとんどの医療機関で行うことができます。C型肝炎の症状があると思われる方は一度検査を受けられることをおすすめいたします。

なお、星総合病院および町立三春病院では、C型肝炎に関する検査希望者に対して検査を実施しております。詳細は上記担当者までお問い合わせください。

そして、この美しい桜の花に見守られながら、新病院建物の開院より一足先に皆様に内覧会を開催いたします。今回設工事は5月の開院に向けて着々と進んでおります。今月29日には新病院建物の開院式は5月の開院よりもお知らせしております。今回懸虹でもお披露目する場となります。5月内に見守らなければなりません。まだまたたく間に走らせる途中、道路脇の山々には、多くの桜の花が美しく咲き誇り、思わず車のスピードを緩めて見入ってしまうほどでした。